

十二年に一度巡り来る幸運の年

奉祝



【平成二十一年】

出羽三山 丑歳御縁年

平成二十一年は、出羽三山丑歳御縁年にあたります。三山の一つであり、奥の院である湯殿山が、丑歳に御開山されたことから、湯殿山の御縁年をもって三山の御縁年とされています。十二年に一度の丑歳に参詣すれば、十二回お参りしたのと同じとされ、大変なご利益があると伝えられてきました。是非この機会にご来山なさいませう。心よりお待ちしております。

三山すなわち一山



現在(羽黒山)、過去(月山)、未来(湯殿山)の三世に渡って救いの手をさしのべて下さる尊い神々の鎮まります出羽三山。生きたまま悟りを開き、人々を苦しみから救うことを目的とする修験道においては、三山にあって一山です。

出羽三山は、古来より日本三霊場の一つであります。西の伊勢詣りに対し、東の奥詣りと称されてきました。そして双方を御詣りする事は重要な「人生儀礼」とされ、出羽三山霊場は全国からの参拝者たちで賑わいました。



平成二十一年は出羽三山丑歳御縁年にあたります。三山の一つであり、奥の院である湯殿山が、丑歳に御開山されたことから、湯殿山の御縁年をもって三山の御縁年とされています。十二年に一度の丑歳に参詣すれば、十二回お参りしたのと同じとされ、大変なご利益があると伝えられてきました。江戸時代には普段の年の数倍にも増して、山が開かれる前から、湯殿山に至る参道は、諸国から訪れる白衣姿の道者たちで埋まったと伝えられています。参詣道者は、羽黒山で現世の幸せを祈り、月山で死後の浄化を願い、湯殿山を拜して生まれ変わることを願い三山を巡りました。

その信仰は今に至るまで東北一円はもとより関東にまで及んでいます。各地に残される石碑が、往時の出羽三山信仰の篤さと拡がり物を語っています。

記念事業

- ◎出羽三山丑歳御縁年奉祝記念大祭(五月八日)
- ◎湯殿山神社本宮開山祭・奉祝記念祭(六月一日)
- ◎羽黒山奉祝芸能奉納(五月～十月)
- ◎羽黒山／歴史博物館御縁年企画展(梵天展)
- 湯殿山／御宝前整備
- 湯殿山／特別千枚梵天・天梵天・小梵天奉納募集中

